

令和５年度図書館事業評価結果について

河内長野市立図書館（図書館）では、図書館法第７条の３に基づき、図書館サービスその他図書館運営の維持・向上を図るため平成２６年度から図書館事業評価を行っています。令和５年度の図書館事業評価結果について、取りまとめましたので公表します。

図書館は、平成３１年２月２３日付け河内長野市図書館協議会（図書館協議会）の答申を受け「第２期河内長野市立図書館の事業の実施等に関する基本的な運営の方針」（基本的運営方針）を平成３１年３月３１日付けで決めました。基本的運営方針に基づき策定した事業計画及び指標の達成状況を分析し、今後の課題・取組等について図書館により自己点検・評価を実施します。また、この自己点検・評価を踏まえ図書館協議会委員から外部評価を得ます。その結果を「河内長野市立図書館事業評価」として公表します。

１．点検及び評価の目的

- ・基本的運営方針に基づいた運営がなされていることを確保し、事業水準の維持・向上を図ります。

２．評価の方法等

基本的運営方針に基づき策定した事業計画及び指標の達成状況を分析し、指標に係る数値目標により３段階の評価基準で評価を実施します。また、図書館協議会委員から外部評価を得ます。

実績は１２月末現在の数値に３月末までの推計を含めて算出します。

- ・評価基準（端数切捨て）
A…達成した（９０％以上） B…ほぼ達成した（８９％～６１％）
C…達成できなかった（６０％以下）

令和5年度河内長野市立図書館事業計画 主な取組実績及び自己点検

	事業計画	取組目標	主な取組実績	自己点検（今後の課題・取組等）
基本的運営方針 1	読書活動を推進し、市民の読書習慣の定着化を促進します。			
	（１）市民の資料要求に応え、さらにその要求を広め高めて行くため、良質な資料を収集・提供します。	図書館の蔵書の充実 図書館利用の促進 魅力のある資料の収集	「河内長野市立図書館収集方針」（令和2年9月1日改定）及び「河内長野市立図書館蔵書整備計画」（平成28年4月1日策定）に基づき、蔵書整備計画予算配分表を毎年度作成し、計画的な資料の収集を行っています。 図書館の１年間の受入冊数（図書館） 12月末実績 7,720冊 3月末実績（推計） 9,674冊 図書館利用者数 12月末実績 324,211人 3月末実績（推計） 425,964人 市民１人当たりの貸出冊数 12月末実績 5.3冊 3月末実績（推計） 6.9冊	１年間の受入冊数は、昨年度の冊数と同程度です。単価が上がり冊数が増えませんが、その中でも、今度とも魅力ある良質な資料構成を目指して、ネーミングライツによる歳入を活用し資料の更新と充実を進めていきます。（ネーミングライツ（命名権料）の内訳） 令和2年1月1日～6年12月31日 初年度 50万円＋物品393,340円 次年度以降 年額70万円 また、英語多読資料の整備を引き続き進め、より一層の利用促進を図ります。 英語多読コーナー蔵書冊数 12月末実績 2,246冊 英語多読コーナー貸出冊数 12月末実績 8,108冊 令和5年9月25日～10月9日の図書館システム更新による臨時休館の影響もあり前年度から若干減っています。今後も、図書館に来館しづらい高齢者や障がい者を含めて、どのような方でも使いやすい図書館サービスの充実に努めます。 貸出冊数は昨年度からは回復傾向ではありますが、図書館システムの更新による休館もあり、コロナ禍前までには回復していません。引き続き市民の読書要求に応えられるよう、蔵書の充実に努めていきます。
	（２）市内全域への図書館サービス提供のため、図書館、公民館図書室や自動車文庫等の全体の蔵書構成を考えた資料収集を行います。	市内全域への図書館サービス 公民館図書室の蔵書の充実 自動車文庫の蔵書の充実	公民館図書室８ヶ所、自動車文庫ステーション23ヶ所のサービスポイントを活用し、利用者の利便性の向上と資料提供に努めました。 図書館と公民館図書室との相互貸借冊数 12月末実績 36,621冊 3月末実績（推計） 48,828冊 公民館図書室の１年間の受入冊数 12月末実績 939冊 3月末実績（推計） 1,090冊 自動車文庫の１年間の受入冊数 12月末実績 398冊 3月末実績（推計） 495冊	コロナ禍においても、予約資料を最寄りの公民館図書室や自動車文庫サービスポイントを利用して受け取るなど、図書館ネットワークが有効に活用されており、例年とほぼ変わらない相互貸借冊数となっています。 今後とも１冊あたりの資料費が上昇するなかでも、市内全域にサービスできるよう継続した資料整備を行っています。
	（３）市民の身近な施設としてのサービス機能の充実を図るため、自動貸出機の活用や、利用者カードとＩＣカードの連携など利便性の向上に努めます。	自動貸出機の利用促進 利用者カードとマイナンバー、交通系ＩＣカード連携機能の利用促進	自動貸出機による貸出冊数割合 12月末実績 21.0％ 3月末実績（推計） 21.0％ マイナンバー、交通系ＩＣカード連携機能申込人数（累計） 12月末実績 119人 3月末実績（推計） 128人	自動貸出機の利用状況は、12月末現在、利用人数25,521人、貸出冊数119,011冊でした。平成29年6月の導入以来2割程度の貸出しを担っています。利用に不慣れな利用者に対して、今後もより利用しやすいようサポートしながら利用促進に努めていきます。 令和4年11月1日から図書館の利用者カードとマイナンバーカードや交通系ＩＣカードを連携して、図書館と公民館図書室の窓口で利用者カードの代わりに使えるサービスを導入しました。今後ともPRに努めていきます。

	事業計画	取組目標	主な取組実績	自己点検（今後の課題・取組等）
基本的 運営 方針 2	市民との協働を推進するとともに、交流人口の拡大や地域の活性化に寄与します。			
	（４）ボランティア活動の充実を支援し協働を推進するため、読み聞かせボランティア講座やスキルアップ講座を実施します。	ボランティアとの協働を推進	開催講座数、ボランティア活動のべ参加人数 開催講座数 12月末実績 2講座 7回 3月末実績（推計）4講座 10回 ボランティア活動のべ参加人数 12月末実績 359人 3月末実績（推計） 470人	すぐに役立つ読み聞かせボランティア講座は希望者が5名に満たず開催を見送りました。希望者のうち、図書館で活動するボランティアへの新たな加入予定1名。子どもと本をつなぐ活動に関する講座については3講座開催できました。また一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会との代読ボランティア養成講座も開催できました。 図書館で活動いただいているボランティアについては、児童サービスではおはなし会、えほんのひろば等で活動いただきましたが、ようこそえほんといっしょ（乳幼児健診での読み聞かせ）では感染症予防のために活動をご遠慮いただきました。また今年度は大人も楽しむ絵本の会を立ち上げ、市民公益活動支援金による絵本ライブを開催するなど活動の幅を広げられました。障がい者サービスでは、さわる絵本・布の絵本の制作のほか、代読ボランティア養成講座参加者のうち14名が新たに加入。代読のための福祉施設の訪問も再開しました。ヤングサービスでは高校生ボランティアが活動（本の配架や修理等）を行いました。
	（５）生涯学習機会の拡大のため、他の公立図書館等との連携を一層図り、広域相互利用を実施して交流人口の拡大を進めます。	広域相互利用の推進	1 4 市町村広域登録者数 12月末実績 8,804人 3月末実績（推計） 8,876人	市民の生涯学習機会を拡大するため今後とも広域相互利用を実施します。（14自治体：大阪市、東大阪市、八尾市、松原市、柏原市、羽曳野市、藤井寺市、富田林市、大阪狭山市、太子町、河南町、千早赤阪村、橋本市、五條市）
	（６）地域課題の解決に向けて、様々な分野で活動しているボランティア団体のチラシを配架することで情報発信を支援し、またボランティア活動への参加を促進して、地域活性化を図ります。	ボランティア団体の情報発信を支援	社会福祉協議会主催事業等のチラシ配布数 12月末実績 1,448枚 3月末実績（推計） 1,931枚	河内長野市社会福祉協議会内のかわちながのボランティア・市民活動センターとの連携によりチラシを配布しています。 今後も、図書館資料の展示を行うなど、積極的な情報発信や情報提供を行っていきます。 なお、チラシは地域活動の意義をより一層強く発信するために、SDG s 持続可能な17の開発目標に区分して配架しています。
	（７）「音と映像コーナー」をリニューアルした、愛称「こもれび広場」を、講座やイベント等の開催により利用者同士が交流できる場所として活用します。	「こもれび広場」の活用	講座・イベント等開催数 12月末実績 23回 3月末実績（推計） 28回	令和4年度に完成した「こもれび広場」は、本を介して人が集える場所とすることを目的に設置したものです。多言語えほんのひろば、多言語のおはなし会、英語多読ひろば、カフェふくろう、録音図書体験会、大人も楽しむ絵本の会などのほか、見学に来た府立長野高校の生徒との交流会等にも活用しています。

	事業計画	取組目標	主な取組実績	自己点検（今後の課題・取組等）
基本的運営方針 3	子どもたちに多様で豊かな読書環境や学習機会を提供するため、学校、地域、家庭との連携を図ります。			
	(8) 「河内長野市第 4 次子ども読書活動推進計画」(令和 3 年度～令和 7 年度) に基づき、関係機関との連携を図りながら子どもの読書活動を推進します。	子どもたちの図書館利用の推進 図書館と学校との連携 学校等での本に親しむ機会の提供	0 ～ 1 8 歳の図書館登録者率 12月末実績 45.7% 3月末実績（推計） 45.7% 図書館から小中学校への団体貸出冊数 12月末実績 3,365冊 3月末実績（推計） 4,173冊 えほんのひろば参加者数 12月末実績 1,944人 3月末実績（推計） 3,600人	学校司書連絡会などで電子書籍の利用案内をし、図書館利用のPRに努めました。 学校専用の資料である「学校支援用図書」の整備等、継続した資料整備に努め、言語力向上司書とも連携しながら子どもの読書環境の整備を進めます。 令和元年度から、学校支援用図書の予約を30冊から100冊に拡大しています。 「えほんのひろば」については、全小学校および1中学校で開催しました。また、ゆいテラスバースデー（4月2日）、南花台公園予定地ワークショップ（6月3日から7月15日に変更）、JCフェスティバル（7月29日）、夏休み子ども体験教室（8月19日）、花の文化園（11月11日）、ゆいテラスのクリスマス（12月10日）、英語村フェスタinキックス2023（1月28日）にて出張えほんのひろばを出展しました。また南花台公園予定地ワークショップ（12月10日）にも、えほんのひろば資料提供を行いました。

	事業計画	取組目標	主な取組実績	自己点検（今後の課題・取組等）
基本的運営方針 4	図書館機能の充実を目的に、児童サービスやレファレンスサービスほか各種サービスの向上を図ります。			
	（９）子どもたちの読書活動の推進を図るため、ボランティア等と連携し、おはなし会などを実施します。	定期的なおはなし会等の子ども向け行事の実施	おはなし会等開催回数、おはなし会等参加者数 12月末実績 59回、774人 3月末実績（推計）76回、900人	英語のおはなし会（6月28日15時～、8月27日15時～ こもれび広場にて英語多読広場と同日開催、11月19日15時～ こもれび広場にて世界ごった煮フェス、府教育庁と共催の多言語えほんのひろば＆おはなし会の中で開催、1月28日15時～予定 キックス4階イベントホールホワイエにて英語村フェスタinキックス2023の中で開催 いずれも日曜日）も開催しました。 定期定例のおはなし会は感染予防対策を講じるため、おはなしのへやをオープンにしての開催が続いており、外からの参加者があること及び第2第4水曜日から第2第3第5土曜日におはなし会を移行したことから参加者数は増えています。
	（10）地域文庫、幼稚園・保育所及び放課後児童会等への団体貸出の利用を促進するため、資料集配送を継続実施します。	団体貸出の利用促進	資料配送件数、資料配送冊数 12月末実績 280件 12,487冊 3月末実績（推計） 373件 16,649冊	放課後児童会や地域の幼稚園・保育所、福祉施設にパック貸出しを行っており、資料配送を有効に活用して子ども達の読書環境の整備に努めることができました。
	（11）インターネット端末席の設置や、メールマガジンの発信、レファレンスデータベースの公開などICTを活用した図書館サービス機能の充実を進めます。	館内のインターネット利用環境の整備 インターネットを使った情報発信 電子書籍の利用促進	インターネット・オンラインデータベース端末席利用者数、国立国会図書館が提供するデジタル化資料の年間利用回数 端末席利用者数 12月末実績 507人 3月末実績（推計） 645人 デジタル化資料利用回数 12月末実績 5回 3月末実績（推計） 7回 レファレンスデータベースの公開件数、メールマガジン発信数 レファレンスデータベース 12月末実績 4件 3月末実績（推計） 4件 メールマガジン 12月末実績 9件 3月末実績（推計） 12件 電子図書館ログイン数 12月末実績 4,571人 3月末実績（推計） 5,628人	インターネット・オンラインデータベース端末席については機器やソフトウェアの更新を進め今後も利用の一層の促進を図ります。 レファレンスデータベースの事例公開を今年度は4件いたしました。事例を精査し、過去の公開事例の見直しも進め、利用者の課題解決の支援に努めます。電子図書館において「広報かわちながの」など河内長野市独自資料の公開、YouTube歴史講座の配信にも努めました。YouTube歴史講座は河内長野市内小学校で行われる郷土歴史学習の予習資料としても活用され、地域の教育活動にも寄与しています。またメールマガジンでは図書館情報の発信源として配信を行っています。 非来館型サービス、高齢者や障がい者サービスの充実に向け、令和2年9月に電子書籍を導入しました。今後も充実に努めます。図書館システム更新中は利用者カードでのログインができないため、臨時利用者IDを発行しました。また、電子書籍の若年層の利用者が少ないため、市内の高等学校にて生徒にIDを配付しました。次年度は市立の小中学校に通う小学4年生から中学3年生にIDを配布します。今後も利用促進に努めます。 電子書籍蔵書冊数 12月末実績 11,272冊 臨時休館向け臨時利用者ID発行数 49件 市内高等学校向け臨時ID発行数 634件

	事業計画	取組目標	主な取組実績	自己点検（今後の課題・取組等）
	（12）図書館の利用に困難がある市民に対して、その理由や程度に応じた資料を量的拡充・質を向上させるとともに、誰もが利用しやすい環境づくりを進めます。	録音図書等の整備 サピエの活用 読書媒体や端末機器の情報入手に関する支援 郵送貸出サービスの実施 福祉施設へのサービスの実施 認知症にやさしい図書館の推進	録音図書の新規受入数 12月末実績 21タイトル 21点 3月末実績（推計） 30タイトル 77点 録音図書の他館借受・ダウンロード数 12月末実績 651タイトル 651点 3月末実績（推計） 868タイトル 868点 マルチメディアデイジー上映会等回数 12月末実績 10回 3月末実績（推計） 10回 録音図書の郵送貸出件数 12月末実績 98件 131点 3月末実績（推計）280件 373点 福祉施設への団体貸出利用数 12月末実績 1,185冊 3月末実績（推計） 1,469冊 まちかどカフェ（認知症カフェ）参加者数 12月末実績 63人 3月末実績（推計） 84人	活字による読書が困難な方に、録音図書を提供しています。逐次刊行物（広報かわちながの、市議会だより、社協だより、声の広報厚生）を昨年度までは毎号別々に登録していたのを差し替え方式に変更したため昨年より少なく見えますが、実際は大きな変化はありません。 サピエを活用し、全国の点字図書館等が所蔵する録音図書を借受またはダウンロードすることにより、自館が所蔵していない録音図書を提供しています。 カセットテープからデイジーへの移行が進み、タイトル数と点数が一致しました。 マルチメディアデイジー（音声と文字、画像をパソコンで同時に再生できるデジタル録音図書のこと）の普及を目指し、また図書館で貸出しできることをPRするため、上映や体験会を行っています。 活字による読書が困難で、かつ来館するのが困難な利用者に対して、録音図書の郵送貸出サービスを行っています。 録音図書以外の郵送貸出は今年度は利用がありませんでした。 市内の福祉施設にアンケートを実施し、希望のジャンルなどを聞き取り、それを元に図書館職員が貸出パックを作成して施設まで配送するサービスを行っています（令和5年度は9施設が利用）。 まちかどカフェは、地域高齢福祉課と共催で行っている「認知症について相談できる場」で「こもれび広場」で開催しています。月1回開催しており、当事者やその家族、ボランティアなどが気軽に集える場となっています。図書館職員も参加し、資料の提供や情報交換などを行っています。

	事業計画	取組目標	主な取組実績	自己点検（今後の課題・取組等）
郷土歴史資料や行政資料の収集保存を進め、その普及啓発や活用を図ります。				
基本的運営方針 5	（13）郷土歴史資料の普及啓発や活用を図るため、関連講座及び資料の展示等を行うとともに保存修復を行います。	郷土歴史資料の活用 郷土歴史資料の保存修復 デジタル化した古絵図の活用	開催講座数 12月末実績 3講座（7コマ） 3月末実績（推計）4講座（8コマ） 令和5年度内に完了 12月末実績 1件 3月末実績（推計） 1件 アクセス数 12月末実績 46,434件 3月末実績（推計） 61,912件	講座は、古文書講座（初歩の初歩3コマ・入門編3コマ）各1講座、歴史講座1講座（9月実施1コマ）のほか、非来館対応も鑑み、1月末時点でYouTube歴史講座を8件公開しました。また、歴史講座を1講座（1コマ）2月に予定しています。 今年度は「河州錦部郡長野村新田畠改帳（寛文9年2月8日）」の修復を実施しました。修復事業の成果を発信し、市民の郷土歴史への関心を高めるため、修復後には展示を実施します。 令和5年3月に導入した古絵図等データベース「河内長野市立図書館デジタルアーカイブ」は、MaaSアプリや国立国会図書館が運営するジャパンサーチとも連携し、これまでなかなか見ることのできなかった河内長野の古絵図を高精細デジタル化して公開しています。今後も河内長野の魅力を伝えられるようにYouTube歴史講座などを通じて利用促進に努めます。
図書館を利用することで市民自らの課題が解決できるよう、図書館資料の活用を促進します。				
基本的運営方針 6	（14）図書館資料の利用を促進するため、生活に役立つ図書館講座や児童を対象とした利用者教育講座（資料の探し方等）を開催します。また、利用者の知的好奇心を刺激するような、多様なテーマに沿った展示を行い図書館資料の活用につなげます。	課題解決に役立つ講座の開催 図書館資料を活用した展示	開催講座数、参加者数 12月末実績 5回（60人） 3月末実績（推計）5回（60人） テーマ別展示数 12月末実績 73回 3月末実績（推計）89回	小学生に図書館での資料の探し方を教える「図書館マスター」2講座（小学3～6年生対象）、生活に役立つ図書館講座3講座（英語多読）を開催しました。 毎月または随時、一般向け、児童向け、ヤング向けの各テーマ展示や、他課の講座・イベント等と連携した展示など、様々な切り口で積極的に行っています。 令和5年度からは、こもれび広場でのミニ展示も加わりました。今後も図書館資料の利用促進のため、講座や展示を継続して行っていきます。 電子図書館においても、「電子図書館だより」（月刊）の作成や、様々な特集を組んで電子書籍の効果的な紹介を行い、利用促進を図ります。
図書館司書及びその他の職員の資質・能力の向上を図るため、継続的・計画的な研修を実施します。				
基本的運営方針 7	（15）図書館司書及びその他の職員の資質・能力の向上を図るため、継続的・計画的な研修を実施します。	研修への参加 職員の接客能力の向上	研修（館外）数、研修参加者数 12月末実績 21講座 57人 3月末実績（推計）28講座 70人 利用者の職員対応満足度（5段階評価） 12月末実績 4.3 3月末実績（推計）4.3	文部科学省や大阪公共図書館協会等が主催する図書館員向け研修に、職員を参加させています。大阪府が実施する府内図書館員対象の研修は、令和2年度から開始した録画配信によるオンライン研修に加え、令和4年度以降は新たにリアルタイムに配信するオンライン開催や、集合形式で開催しつつリアルタイムで配信を行うハイブリッド形式など、感染対策だけでなく研修内容を考慮して選択した形式での実施となりました。勤務年数や経験年数を考慮し、必要な研修にできる限り多く参加できるように努めました。 利用者の職員対応満足度は、図書館アンケートにより5段階評価で平均4.3であり、今後も職員の接遇の向上に努めます。

	事業計画	取組目標	主な取組実績	自己点検（今後の課題・取組等）
基本的運営方針 8	コンプライアンスを推進し、安全で安心な図書館の読書環境を維持します。			
	（16）市民の理解と協力を得て図書館の良好な読書環境の維持、利用マナーの向上を図ります。	良好な読書環境の維持	マナー向上啓発回数 12月末実績 3回（6月 水濡れ防止 6月・8月 落書き防止） 3月末実績（推計）4回（2月実施予定 水濡れ防止）	窓口にて、落書き防止と水濡れ防止を呼びかけるチラシの配布（6月）、図書館入口にて落書き防止を呼び掛けるポスターの掲示（6月・8月）、水濡れ防止を呼び掛けるポスターの掲示（6月・2月）を行いました。今後も図書館資料を守り、利用者マナーの向上を図るための啓発活動を行っていきます。
	（17）危機管理マニュアルの整備、職員に対して防火訓練をはじめ A E D 講習や防犯講習等を実施します。	職員の危機管理能力の向上	防火訓練等実施回数 12月末実績 5回 3月末実績（推計）7回 実施内容（実施日） ・大阪 8 8 0 万人訓練 予行演習 8/7 本番訓練 9/1 ・自衛消防訓練 7/17 3/4（予定） ・救命講習 9/26 ・防犯講習 9/26 ・情報セキュリティ研修（動画視聴）1/18～	自衛消防訓練等を施設の関係者と合同で行いました。複合施設にあることを踏まえ、関係機関との連携を図り利用者の安全安心の確保に努めます。 救命講習については、A E D の使用方法や心肺蘇生などの救命措置の実技講習を行いました。昨年度までは新型コロナウイルス感染拡大防止のため動画視聴にて応急手当に関する研修を行っており、4 年ぶりに実技研修に取り組みました。 河内長野警察署から講師を迎え、防犯講習を行いました。利用者ならびに職員自身の護身や危機管理意識の向上を目的に、さすまたの使い方など実践形式も交えて訓練を行いました。

第2期事業評価 数値目標

方針 の番 号	指 標		2年度 (参考)	3年度 (参考)	4年度 (参考)	令和5年度実績及び自己評価 ※年度実績は、12月末現在の数値に3月末までの推計を含めて算出 A(90%以上) B(89~61%) C(60%以下)		
						目標値	実績値	
1 ・ 5 ・ 6	1年間の 受入れ冊数	購入冊数+寄 贈冊数(冊)	12,963	11,186	11,326	目標値	12,000	自己評価・・・A (目標に対し、 95.1% 達成)
						実績値	11,409	
	図書館 利用者数	(人)	382,399	420,467	437,698	目標値	450,000	自己評価・・・A (目標に対し、 94.7% 達成)
						実績値	425,964	
	市民一人当 たりの貸出冊数	貸出冊数÷人 口(冊)	6.4	6.8	7.3	目標値	8	自己評価・・・B (目標に対し、 86.3% 達成)
						実績値	6.9	
	登録者率	登録者数÷人 口(%)	39.3	40.9	42.8	目標値	43	自己評価・・・A (目標に対し、 103.0% 達成)
						実績値	44.3	
2	広域登録者の 占める割合	広域登録者÷ 登録者(%)	16.2	16.4	16.5	目標値	17	自己評価・・・A (目標に対し、 97.6% 達成)
						実績値	16.6	
3 ・ 4	0～18歳の図 書館登録者率	0～18歳登録 者÷0～18歳 人口(%)	48.4	48.7	47.9	目標値	50	自己評価・・・A (目標に対し、 91.4% 達成)
						実績値	45.7	
	学校との連携	図書館から小中 学校への団体 貸出冊数 (冊)	3,559	5,226	4,457	目標値	6,000	自己評価・・・B (目標に対し、 69.6% 達成)
						実績値	4,173	
7 ・ 8	利用者の職員 満足度	5段階評価	4.4	4.4	4.4	目標値	4以上	自己評価・・・A (目標に対し、 107.5% 達成)
						実績値	4.3	

図書館関係統計 (参考)

		28年度 (参考)	29年度 (参考)	30年度 (参考)	令和元年度	2年度	3年度	4年度		5年度
図書館、自動車文 庫、公民館の蔵書 冊数	3月31日現在 (冊)	487,475	493,467	502,137	505,277	504,802	508,672	510,611		
登録者数	3月31日現在 (人)	39,165	42,299	45,227	47,608	48,983	50,468	52,008		
貸出冊数	年度実績(冊)	1,078,752	1,041,706	1,028,992	961,936	767,209	792,927	841,941		
登録者1人当 たりの貸出冊数	貸出冊数÷登 録者(冊)	27.5	24.6	22.8	20.2	15.7	15.7	16.1		
人口	3月31日現在 (人)	107,963	106,713	105,377	104,031	102,920	101,276	100,039		
職員数 (うち司書)	3月31日現在 (人)	28 (21)	27 (21)	27 (21)	26 (21)	32 (27)	31 (25)	30 (25)		
資料費	当該年度決算 見込(円)	26,413,891	26,356,725	26,080,913	27,055,769	24,884,216	23,817,933	23,936,243		
開館日数	3月31日現在 (日)	332	330	296	277	260	253	302		

令和5年度河内長野市立図書館事業計画に対する図書館協議会委員による外部評価

○基本的運営方針2 事業計画(4)について

・取組目標①ボランティアとの協働を推進のところで、ボランティアについて出てくるのですが、子どもの絵本のよみかせボランティア、代読ボランティア、対面朗読ボランティアという3つのボランティアがあって、障がい者サービスとして視覚障がい者向けの対面朗読ボランティアと代読ボランティアは重なってはいないんですね。

⇒別々に養成講座などを行っておるのですけれども、どちらも受講していただいて、読み聞かせのボランティアのメンバーにも入っておられるし、対面朗読の方もされているとか、対面朗読のメンバーであって、代読の方もしていただいているという形で、重なっている方はおられます。

・資料には3種類のボランティアの活動参加人数が書かれているという解釈でよいですか。

⇒はい。

・高校生ボランティア活動というのは、市内の高校にこちらから要請して来てもらうんですか。これは高校生のみで、大学生とかは募集されていないんですか。

⇒市の広報誌やチラシで募集をかけまして、それに対してやりたいという学生の方が図書館に応募して来られるというものです。今のところ大学生は募集していません。

・以前は中学生の職業体験を受け入れられていたと思いますが、今年度はなかったのですか。

⇒中学生の職業体験については、学校の行事の一環で学校の方から依頼がありまして、それを受け入れるというものになります。そのため資料にあるボランティア活動のべ参加人数には含まれておりませんが、職業体験の受け入れ自体は実施しております。各校いつも3人ぐらいつつ参加していただいてまして、市内中学校7校のうち図書館の方に受け入れを依頼されない学校もあり、毎年4、5校くらいはご要望があります。

○基本的運営方針4 事業計画(12)について

・サピエの活用や録音図書の郵送貸出サービスがあり、数値を見ると伸びているんですよ。これは何か特別なことをされたのか。今まで利用案内などで広報していた成果が出て利用者が増えてきたのか、それとも今までの利用者がよりたくさん借りるようになったのか、その理由を図書館として把握していますか。

⇒利用がどんどん増えてきているという状況ではなく、広く浅くというより少数の録音図書を使っているヘビーユーザーといいますか、そういう利用者の方がとてもたくさん利用してくださっていることです。人数はそんなにたくさんではありませんので、担当の職員が各個人のこういうものを貸して欲しいというご希望を聞いて、それを借りられる先を探してと

いうように、かなりきめ細かく対応させていただいていますので、利用されている方には好評いただいているかなと思っています。

・利用者の幅も段々広がっていくといいですね。一見さりげなく見えるのですが、我々は新聞などで色々な情報を目から得ており、視覚障がい者の利用者というのは音で聞くのは別として、その情報がほとんどない。そういう状態ですので、やはり情報の提供のところから含めて、サービスができれば素晴らしいと思います。

○基本的運営方針6 事業計画(14)について

・取組目標①課題解決に役立つ講座開催ということで、自己点検の方に図書館マスター2講座(小学3～6年生対象)と生活に役立つ図書館講座3講座(英語多読)がありますが、この生活に役立つ図書館講座は全て英語多読についてのものなのでしょうか。例えば、一般の方向けに図書館の本の探し方とか、生活に役立つ図書館としてどんなふうに使ってもらえるかというような講座内容とは違うんですか。

⇒英語多読は平成30年度から資料の整備を始めているのですが、今年度は特に英語多読に力を入れまして、3講座とも英語多読に関する講座をさせていただきました。

・本市の小中学校では、B-1グランプリというものを開催しているんです。内容としては、本の紹介をする、いわゆるビブリオバトルのようなものです。本校でも事前に集会で教員対生徒という形にアレンジして開催し、本戦に向かっていったような状況なんですけれども、非常に盛り上がって楽しかった。もし例えばそれを一般の方向けにも広げられたら楽しいのではないかと。学生だけではなくて、一般の部というのあれば盛り上がるのではないかなと思います。

⇒確かに他の図書館でも、主催が図書館であったりそうではなかったりしますが、大人向けのビブリオバトルをやっておられるところがあります。本館としましては、今のところは学校のB-1グランプリに協力させていただくという形で、B-1バトルにお勧めの本の展示というようなアプローチをさせていただいております。大人向けのものについては、今のところちょっと検討はできていないんですけれども、その辺りは今後の課題とさせていただきたいと思っています。

・図書館には本日返却された本のコーナーがあり、私はまずそこへ行くんですよ。そうすると今まで偏った作家の本を読んでいたけれど、そのコーナーから思いがけない作家の作品と出会えるんですね。最近私が行く公民館でも、入口に筋書きを書いて5冊、多い時は10冊ぐらいが紹介されているんです。今日は何を借りようかなと思った時に、すぐそれが参考になって嬉しいんですね。周りの人に聞いても、本日返却された本のコーナーにまず一番に行きますって皆さんおっしゃるから、先ほど委員が言われたように大人向けのビブリオバトルがあれば楽しいというのは、本当にその通りだと思います。だから本日返却された本のコーナーが、少しはその役割を担っているのではないかと思います。意外と全然知らない読んだこともない作家はたくさんいるんです。でも他の人が返却した本のコーナーやお勧め本の展示をきっかけにどんどん広がることもあり、すごくありがたいと思っています。